

特別委員会からの報告

特定の重要な事項を集中的に話し合うため、以下の3委員会が令和6年3月に設置され、2月定例会で調査結果の報告を行いました。※各特別委員会の調査報告書（まとめ）は各QRコードからご覧になれます。

防災対策特別委員会

◎市民が安心した生活を送れるよう、防災対策の充実に取り組むことを要望

近年、大規模な自然災害が相次いでいることから、改めて防災対策の現状と問題点を検証し、自助・共助・公助を通して、災害発生時の被害を最小限に抑えるための諸方策について調査を行い、関係者と意見交換を行いました。

主な結果として、「マイタイムライン」や「コミュニティタイムライン」、地域防災マップ等の重要性を広く市民へ周知を行い、作成・見直しを促進するなど、市民の防災意識の向上を図ることを要望しました。

次に、災害備蓄や避難所運営については、現物備蓄

と流通備蓄の割合の検討や、トイレなどの優先順位が高い品目の備蓄数の見直し、女性の視点を取り入れた対策の充実など、市民に寄り添った対応を進めることを要望しました。

また、物品の管理不足による支援の滞りが生じないよう、支援物資・備蓄品の集積場所や数量等の管理体制の強化に取り組むとともに、孤立状態となることが想定される地域への支援を要望しました。

最後に、大規模災害の被災時においても市民の生活等を維持できるよう、策定する受援計画において、具体的な受援体制を整備するよう要望しました。



部活動のあり方検討特別委員会

◎令和9年度に予定されている休日部活動の地域移行の確実な実施に向けて取り組むことを要望

地域移行に係る課題や課題解決に向けての諸方策について調査を行うとともに、先進的に地域移行を進めている長与町への現地視察や、地域クラブへ移行した団体への現地調査を行い、指導者や保護者等と意見交換を行いました。

主な結果として、指導者の確保については、競技ごとやエリアごとに必要な指導者数を分析し、具体的な調査を実施するとともに、募集の際は指導する条件を分かりやすく提示し、安心して指導できる環境を整えるよう要望しました。

次に、移行後の地域クラブの運営を保護者主体とする方針となっていることについて、保護者・生徒が流動的であるため、市が責任を持ってフォローすることを要望しました。

さらに、地域クラブへの移行後、活動時間が学校施設の夜間開放の時間に当たる場合には地域クラブが優先的に利用でき、使用料もかからないように検討を進めるよう要望しました。

最後に、地域クラブの市の中総体への出場の可否が競技ごとに異なると、生徒や保護者が不安になることから、出場を希望する団体は出られるよう中体連と協議することを要望しました。



地域公共交通対策特別委員会

◎公共交通網の恒久的な維持、交通空白地域や周辺部等の移動手段の確保、市民の安全で快適な交通を確保するための対策を要望

公共交通の利用者数の減少や運転手不足など公共交通の維持が喫緊の課題であることから、その諸方策について調査を行うとともに、公共交通機関の事業者及び乗務員とそれぞれの立場で意見交換を行いました。

主な結果として、運転手不足の課題解決のひとつの方策として、公共交通への自動運転技術の導入を進めている自治体もあることから、積極的に調査研究を行うなど、長期的な視点を持って取り組むことを要望し

ました。

次に、周辺部における交通網の維持が喫緊の課題であることから、地区別に地域が抱える課題を早急に把握・分析し、自治体やNPOが主体となって行う公共ライドシェアの取組や地域のボランティア等による協力も含め、その方策を地域とともに協議することを要望しました。

最後に、現在は、新幹線や高速バスの最終便と連動したバス・電車の交通網がないことから、JR九州やバス事業者と協議するとともに、乗合タクシーなど行政が独自に対策を講じることも含め検討するよう要望しました。

